

50代男性：飛行機はですねあのー→ えっと→ま、三時間ぐらいのフライトでえへ
えーと妊娠中に特に悪い影響はなかったというこれはきちっとした論文出
ているんですけどあへ あのー→ただえっと→ 出産が近→づいた時期
ですね↑ この時期はあのー→飛行機会社の方があへ…

(上二者はテレビの育児番組で質問に答える医師。mish14～mish16、同42～47)

この停滞調やフィラーは、話し手により頻度やタイプが異なっている。談話のタイプや話者の社会的属性との関連についての詳細な実証的検証が待たれるが、この問題については第4章で再び詳しく言及する。

3-5. 談話のタイプと各イントネーション型の分布

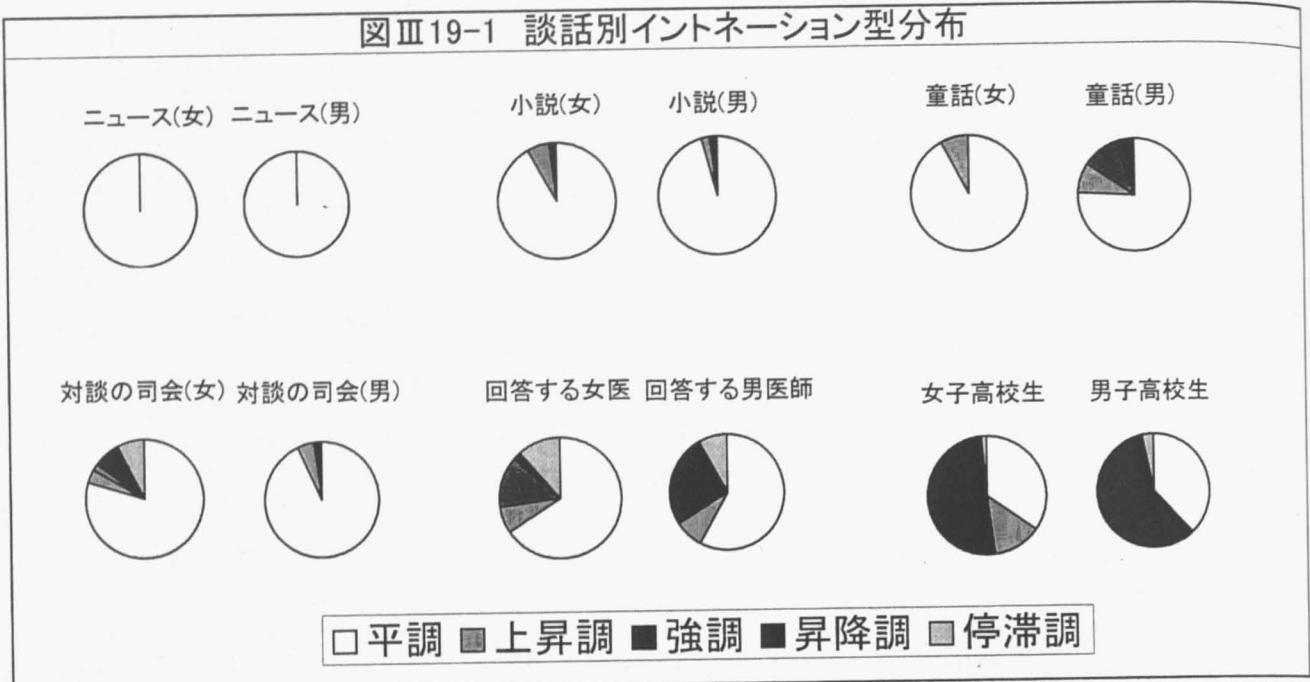
ここでは本章で得たイントネーション6類型を利用して、談話場面別に、これら6種の句末

イントネーションの現れ方が、どのように異なっているか明らかにする。本資料はアナウンサーによるニュース朗読、小説や子供向け童話の朗読、テレビ番組の司会や討論など比較的フォーマルな場面での談話から成るが、それぞれの場面ごとに全PPU数に対する各イントネーションの出現PPU数の割合を算出し、これを各イントネーションの出現状況として表III21にまとめた。

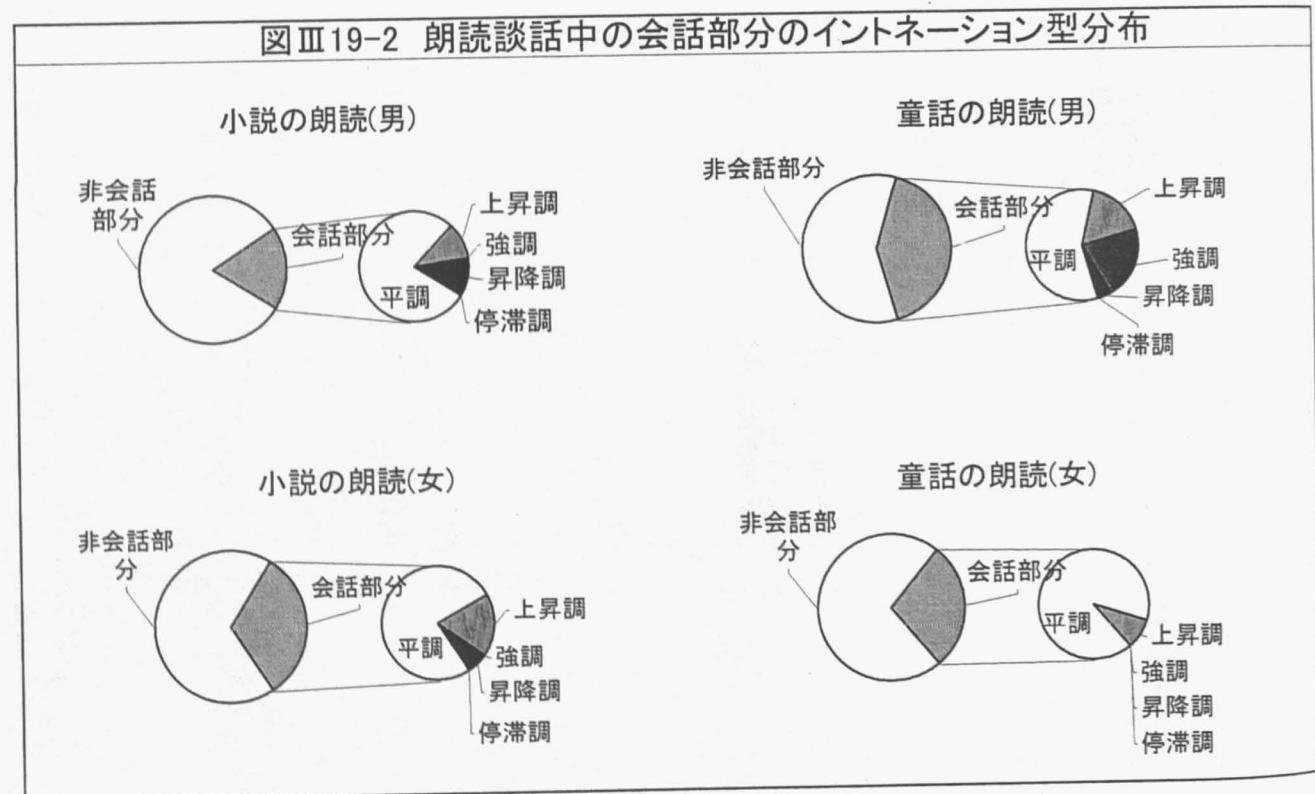
表III21をグラフ化した図III19-1からもわかるようにニュースはすべて平調である。また小説の地の文も全て平調だった。童話朗読の場合は、地の文にも間投助詞の「ね」や終助詞「よ」が使われているため、全体に上昇調や昇降調も若干見られるが、図III19-2から、小説、童話朗読全体の傾向としては、会話部分で平調以外の型の出現がより多くなっていることがわかる。一方、対談番組の司会者(NHKのアナウンサー)は、話し言葉ではあるが、対話者に語りかけたり、

表III21 談話別イントネーション型分布一覧							
	ニュース(男)	ニュース(女)	小説(男)	小説(女)	童話(男)	童話(女)	
平調	100%	100%	96%	92%	76%	92%	
上昇調	0%	0%	2%	6%	9%	8%	
強調	0%	0%	0%	0%	10%	0%	
昇降調	0%	0%	2%	2%	5%	0%	
停滞調	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
会話部分のみ							
		小説(男)	小説(女)	童話(男)*	童話(女)		
		平調	78%	76%	58%	91%	
		上昇調	11%	18%	17%	9%	
		強調	0%	0%	21%	0%	
		昇降調	11%	6%	0%	0%	
		停滞調	0%	0%	0%	0%	
		会話部分の%	18%	35%	41%	28%	
		(各話者の全PPU数に対する会話部のPPUの割合)					
			*田舎のねずみからの手紙を朗読するシーン				
				平調	50%		
				上昇調	14%		
				強調	36%		
				昇降調	0%		
				停滞調	0%		
会話	健康に関する	介護に関する	育児相談	育児相談	討論番組	討論番組	
	対談の司会(男)	対談の司会(女)	回答する男医	回答する女医	男子高校生	女子高校生	
平調	93%	80%	58%	66%	38%	35%	
上昇調	5%	4%	8%	7%	0%	13%	
強調	0%	2%	0%	14%	0%	0%	
昇降調	2%	7%	26%	2%	59%	51%	
停滞調	0%	7%	8%	11%	3%	1%	

図III19-1 談話別イントネーション型分布



図III19-2 朗読談話中の会話部分のイントネーション型分布



「～ですねえ」のように共感を示したりする以外はほとんど平調であるのに対し、フォーマルな場面であっても、育児相談番組で質問に答える医者の発話になると、平調の割合はかなり低下し、高校生に至っては平調が30%代に落ち込む一方で昇降調が50%を超えており。各発言者の社会的な立場、年齢も異なっているため全てを談話場面の差に還元することはできないが、以

上から、句末イントネーション型の分布の違い、特に平調の含まれる割合に着目することで、談話場面の違いを捉えることができそうである。言うまでもなく、談話の音調面の特徴、つまり「話調」は単にイントネーション型の分布によってのみ決まるわけではないが、談話場面別に各イントネーション型の出現状況を数字で表した意義は小さくないだろう。

次の第4章ではイントネーション以外の韻律的諸要素についても談話場面ごとにどのような違いがあるか見ていく。そして、各談話に見られる「話調」を明示的に表すことにより、「話調」の存在証明とその研究の意義を明らかにする。